

作成日 2018年8月21日
改訂日 2021年9月27日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 1, 25 (OH)₂D RIA キット「FR」用前処理セット
構成試薬 : 「脱脂剤」REAG 1
: 「前処理カラム」SORB
: 「溶離液」REAG 2
製品コード 100233
会社名 富士レビオ株式会社
住所 東京都新宿区西新宿 2-1-1
担当部署 お客様コールセンター
電話番号 0120-292-832
FAX 番号 03-5781-3764
緊急連絡電話番号 0120-292-832
推奨用途と使用上の制限 臨床検査用試薬
整理番号 27

2. 危険有害性の要約

「溶離液」REAG 2

成分（危険有害物質）：エタノール

GHS分類

物理化学的危険性：	引火性液体	区分 2
健康に対する有害性：	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2B
	発がん性	区分 1A
	生殖毒性	区分 1A
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3 (気道刺激性・麻酔作用)
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（肝臓）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（中枢神経系）

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険
危険有害性情報： 引火性の高い液体および蒸気
眼刺激
発がんのおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ、または、眠気またはめまいのおそれ
長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（肝臓）

長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ
(中枢神経系)

注意書き：

【安全対策】使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。容器を密閉しておくこと。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手などをよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

火災の場合：消火するために水噴霧、耐アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類を使用すること。

【応急措置】気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水(またはシャワー)で洗うこと。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

【廃棄】 内容物や容器を廃棄する場合は、地方/国の規制に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名： 臨床検査用試薬

成分及び含有量

「溶離液 REAG 2」

成分(危険有害物質)： エタノール (Ethanol)

化学特性(化学式等)： C_2H_5OH

分子量： 46.07

CAS RN： 64-17-5

濃度又は濃度範囲： 99%

官報公示整理番号(化審法)：(2)-202

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診察/手当を受けること。

飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤： 水噴霧、対アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類。
周辺の条件に適した消火剤を用いる。

使ってはならない消火剤： 棒状放水

火災時の特有危険有害性： 加熱により容器が爆発するおそれがある。
極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。
消火後再び発火するおそれがある。
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、適切な保護具を着用し、煙等を吸い込まないように、風上から作業する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や粉じんやヒュームの吸入を避ける。関係者以外は近づけない。

環境に対する注意事項：
漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：
適切な保護手袋と保護眼鏡を付けて処理する。漏えい物をペーパータオル等で拭き取って、適切な廃棄物処理容器に入れる。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用する。

局所排気・全体換気： 十分な換気ができる場所で取扱う。

安全取扱い注意事項： 換気の良い場所で取扱うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
皮膚への接触、吸入又は飲み込んで서는ならない。
眼の中又は衣類に付けないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

適切な衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

適切な保管条件： 直射日光を避け、2～8℃に保存する。
保存時には凍結しないように注意する。

技術的対策： 特になし。

混触禁止物質： 特になし。

安全な容器包装材料： 特になし。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：取扱い場所の近くに洗眼器と手洗い設備を設置する。

管理濃度

エタノール： 設定されていない。

許容濃度

エタノール

日本産業衛生学会（2013年度版）： 設定されていない。

ACGIH（2013年度版）： TLV-STEL 1000ppm

保護具

呼吸器の保護具： 防じんマスク、簡易防じんマスク

手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること。

目の保護具： 適切な眼の保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具： 適切な保護服を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

	脱脂剤 REAG1	前処理カラム SORB	溶離液 REAG2
物理状態	液体	プラスチックカプセルに入った懸濁液	液体
色	無色	淡黄色	無色
臭い	データなし	データなし	刺激臭
融点／凝固点	データなし	データなし	-114.4℃
沸点又は、初留点及び沸騰範囲	データなし	データなし	78.5℃
可燃性	データなし	データなし	データなし
爆発下限及び爆発上限界／可燃限界	データなし	データなし	下限:3.3% 上限:19%
引火点	データなし	データなし	13℃
自然発火点	データなし	データなし	363℃
分解温度	データなし	データなし	データなし
pH	ほぼ中性	ほぼ中性	情報なし
動粘性率	データなし	データなし	データなし
溶解度	データなし	データなし	水と混和
n-オクタノール／水分分配係数(log 数値)	データなし	データなし	Log Kow=-0.31
蒸気圧	データなし	データなし	59.3mmHg(25℃)
密度及び/又は相対密度	データなし	データなし	0.789 (20℃/4℃)
相対ガス密度	データなし	データなし	1.59
粒子特性	データなし	データなし	データなし

10. 安定性及び反応性

「溶離液REAG2」

(成分(危険有害物質)：エタノール)

安定性： 法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。

危険有害反応可能性： 次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

避けるべき条件： 情報なし

混触危険物質： 次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニア、硝酸、硝酸銀、硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤

危険有害な分解生成物： 情報なし

1 1. 有害性情報

「溶離液[REAG2]」

(成分 (危険有害物質) : エタノール)

急性毒性： 区分に該当しない。

皮膚腐食性/刺激性： 区分に該当しない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分 2B であるエタノールが 99% 含まれるため区分 2B とした。

眼刺激 (区分 2B)

呼吸器感作性又は皮膚感作性： データがなく分類できない。

生殖細胞変異原性： 区分に該当しない。

発がん性： 区分 1A であるエタノールが 99% 含まれるため区分 1A とした。
発がんのおそれの疑い (区分 1A)

生殖毒性： 区分 1A であるエタノールが 99% 含まれるため区分 1A とした。
生殖能または胎児への悪影響のおそれ (区分 1A)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用) であるエタノールが 99% 含まれるため区分 3 とした。

呼吸器への刺激のおそれ、眠気またはめまいのおそれ (区分 3)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 1 (肝臓)、区分 2 (中枢神経系) であるエタノールが 99% 含まれるため区分 1 (肝臓)、区分 2 (中枢神経系) とした。

長期にわたる、または反復ばく露により肝臓の障害 (区分 1)

長期にわたる、または反復ばく露により中枢神経系の障害のおそれ (区分 2)

誤えん有害性： 情報がなく分類できない。

1 2. 環境影響情報

「溶離液[REAG2]」

(成分 (危険有害物質) : エタノール)

生態毒性

水生環境有害性、短期 (急性) : 区分に該当しない。

水生環境有害性、長期 (慢性) : 区分に該当しない。

残留性・分解性： 情報なし

生物蓄積性： 情報なし

土壌中への移動性： 情報なし

オゾン層への有害性： 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物： 残余廃棄物は大量の水で流すか、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- 汚染容器及び包装： 使用した汚染容器や残余の試薬を廃棄して水で十分洗浄した容器は、廃棄物処理法に関する規定に従って処理すること。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

輸送に際しては直射日光を避け、容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下および損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行うこと。

1 5. 適用法令

- 労働安全衛生法： 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（法第57条・第57条の2、施行令第18条・第18条の2）
政令番号別表第9の61号（エタノール）
- 毒物及び劇物取締法： 該当なし
- 化学物質排出把握管理促進法： 該当なし

1 6. その他の情報

主な引用文献

職場のあんぜんサイト <http://anzeninfo.mhlw.go.jp/index.html>

NITE 化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP）

https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop

記載内容については、現時点で入手できる資料等に基づいて作成したのですが、すべてを網羅しておりませんので、取扱いの際には十分注意してください。